

60年代から現在まで、ベトナム映画40年間の歴史を辿る



VIETNAM FILM
FESTIVAL

ベトナム映画祭



11月1日(水)～26日(日)

休館日・休映日を除く

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 TEL 092-852-0600

少女と小鳥

1962年/監督:チャン・ヴー・グエン・ヴァン・ドン

おかあさんはおるす

1979年/監督:グエン・カイン・ズー

河の女

1987年/監督:ダン・ニャット・ミン

ナイフ

1995年/監督:レ・ホアン

トゥー・ハウ

1963年/監督:ファム・ギー・ナム

無人の野

1979年/監督:グエン・ホン・セン

退役将軍

1988年/監督:グエン・カック・ロイ

祈り

1996年/監督:ホー・クアン・ミン

再会の約束

1974年/監督:チャン・ヴー

ティ・ダオ物語

1981年/監督:ファン・ヴァン・コア

旅まわりの一座

1988年/監督:ウイェト・リン

グアバの季節

2000年/監督:ダン・ニャット・ミン

ハノイの少女

1974年/監督:ハーイ・ニン

射程内の街

1982年/監督:ダン・ニャット・ミン

黒いサボテン

1991年/監督:レ・ザン

天の網

2002年/監督:フィー・ティエン・ソン

愛は17度線を越えて

1975年/監督:ハーイ・ニン

十月になれば

1984年/監督:ダン・ニャット・ミン

街角の歌

1992年/監督:チャウ・フエ

はるか遠い日

2004年/監督:ホー・クアン・ミン

講演会 「ベトナム映画の魅力」
～ダン・ニャット・ミン監督 自作を語る～

60年代から現在まで、ベトナム映画40年間の歴史を辿る

ベトナム映画祭

VIETNAM FILM FESTIVAL

映画祭

2006
11/1(水) — 26(日) 休館日・休映日除く

会場:福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 TEL:092-852-0600
観覧料:500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

主催:福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会

*定員制。各回入替制。*チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

*障がい者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

おかあさんはおるす

While the Mother is Away

●11月4日(土) 11:00
●11月9日(木) 14:00

おすすめ



1979年/35ミリ/モノクロ/65分/ベトナム

日本語字幕付き

監督:グエン・カイン・ズー

出演:ヴァン・ズン、ホン・ズエン

ベトナム戦争時代、南ベトナムのメコンデルタの中に、母親と5人の子供が暮らしていました。母親はどこからか合図があると、銃を担いで出かけていきます。その間、10歳の長女ペーを中心に子供達だけの生活が始まります。食糧の調達から料理の支度、そして長女は下の子供達の先生となって言葉の練習などの授業も行います。近所のおばさんも色々手助けをしてくれます。ペーの夢はみんなと学校に行くことです。しばらくしてお母さんが帰ってきます。束の間の幸せな日々。しかしまた合図があり、お母さんはどこかへ出かけていくのでした。

周りにほとんど家のない湿地帯の中の一軒家に暮らす家族の物語ですが、母親はゲリラであるため戦闘に出かけていくのです。映画では母親が具体的に何をしているのかほとんど描かれませんが、映画の中心は子供達の無邪気な悪戦苦闘ぶりです。しかし長女は母親が何をしているのか知っており、母親が帰ってこないかもしれないという不安の中で懸命に子供達の面倒を見るのです。短い映画ですが、心が締め付けられるような切なさ、そして子供達の愛らしさに満ちた作品です。

河の女

The Girl on the River

●11月12日(日) 15:10
●11月22日(水) 14:00

おすすめ



1987年/35ミリ/カラー/94分/ベトナム

日本語・英語字幕付き

監督:ダン・ニャット・ミン

出演:ミン・チャウ、ハー・スエン

ベトナム戦争時代、中部の町フエの川べりに南ベトナム政府軍を相手にする娼婦たちの舟が浮かんでいました。主人公のニュエもそういった女性の一で、ある日傷を負った解放戦線のリーダー・リエンがニュエの舟に逃げ込んで来ます。リエンを介抱するニュエですが、いつしか二人は恋に落ちます。怪我が回復したリエンは、ニュエと再会の約束をして別れます。戦後、真面目な仕事についたニュエは、リエンが政府の高官になったことを知ります。ニュエはリエンに会いに行くのですが、リエンは人違いだと突っぱねてしまいます。またこの事を知った雑誌社に圧力をかけて記事を差し止めてしまうのです。

素晴らしい指導者が、戦後冷たい官僚に変わってしまうというベトナムの官僚主義を批判した作品ですが、87年当時このようなテーマの映画が作られた事は画期的でもありました。但しこの作品が80年代ベトナム映画を代表する作品と評価されるのは、その豊かな詩情溢れる映像にあります。たゆたうように河に浮かぶニュエの舟。束の間であり永遠のような二人の愛。そういった描写の積み重ねが戦後の現実との落差を際立たせるのです。監督はこの作品の映像の美しさについて、小津安二郎監督の影響であると語っています。

少女と小鳥

A Passing Bird

●11月2日(木) 19:00
●11月11日(土) 11:00



1962年/35ミリ/モノクロ

44分/ベトナム/日本語字幕付き

監督:チャン・ヴァー、グエン・ヴァント

出演:トウ・エン、トゥー・ビュ

抗仏戦争時代。川のほとりに父親と娘が暮らしていた。父親は密かにゲリラが川を渡るための船頭役をしていた。ある日スパイに見つかるのだが…。ベトナム映画学校第一期卒業生である二人の監督による卒業制作作品。ベトナム映画芸術の実質的な出発点と評価される作品。

トゥー・ハウ

Mrs. Tu Hau

●11月1日(水) 14:00
●11月18日(土) 14:00



1963年/35ミリ/モノクロ

78分/ベトナム/日本語字幕付き

監督:ファム・キン・ナム

出演:チャー・ザン、バー・ズー

抗仏戦争時代、助産婦のトゥー・ハウは敵の士官にレイプされる。彼女は自殺を考えるが子供のことを考え思いとどまる。そして夫の戦死後、ゲリラとなって戦うのだった。本作はモスクワ映画祭で銀賞を獲得、長編劇映画ではベトナム映画界初の国際的な受賞作となった。ベトナム映画の歴史を語る上で欠かせない初期の傑作。

再会の約束

Have a Date in Time

●11月3日(金・祝) 14:00
●11月9日(木) 19:00



1974年/35ミリ/モノクロ

108分/ベトナム/日本語字幕付き

監督:チャン・ヴァー

出演:ニュー・クイン、ヴァー・トゥラム

フランス植民地時代から、ベトナム戦争時代までを舞台にした作品。お祭りで知り合った若い二人は、歌に託して恋を語る。二人は戦いの中で引き裂かれるが、固く再会を誓うのだった。ベトナムの少数民族の歌がふんだんに盛り込まれた恋愛ドラマ。フランス植民地時代の風俗が描かれ、日本軍による占領時代も描かれる。

ハノイの少女 The Little Girl of Hanoi

● 11月3日(金・祝) 11:00
● 11月8日(水) 14:00



1974年/35ミリ/モノクロ/77分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

監督:ハーイ・ニン

出演:ラン・ファン、チャー・ザン

72年のハノイ。ヴァイオリンケースを抱えた少女が父親を探し歩く。彼女は爆撃で母親を亡くしたのだ。親切な兵士が少女を父親の元に連れて行くが、少女は幸せだった家族との日々を思い出す。72年12月のハノイ空爆の犠牲者追悼を意図して製作された作品。ホー・チ・ミン主席の実写映像が挿入されている。

愛は17度線を越えて The 17th Parallel Days and Nights

● 11月2日(木) 14:00
● 11月5日(日) 14:00



1975年/35ミリ/モノクロ
184分/ベトナム/日本語字幕付き

監督:ハーイ・ニン

出演:チャー・ザン、ラム・トイ

54年に仏越戦争が終了してから、ベトナム戦争が深みに入り込んだ68年までの時代を背景に、17度線により引き離された夫婦の物語を中心に描かれる作品。当時のベトナム映画界の総力を結集したプロバガンダ映画で、主演女優のチャー・ザンはモスクワ映画祭で優秀女優賞を獲得。(5分間の途中休憩あり)

無人の野 Wild Field

● 11月4日(土) 14:00
● 11月10日(金) 14:00



1979年/35ミリ/モノクロ/94分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

監督:グエン・ホン・セン

出演:グエン・トゥイ・アン、ラム・トイ

ベトナム戦争時代。メコンデルタでゲリラの連絡係を務める夫婦の物語。彼らは赤ん坊を抱えながら米軍のヘリコプターの監視をかわくづついた。米軍のヘリと夫婦の緊張感溢れる戦いの映像が素晴らしい。本作はモスクワ映画祭で金賞を受賞、ベトナム映画が初めて国際映画祭で最高の賞を受賞した記念碑的作品。

ティ・ダオ物語 Mrs. Dau

● 11月4日(土) 17:00
● 11月10日(金) 19:00



1981年/35ミリ/モノクロ/86分
ベトナム/日本語字幕付き

監督:ファン・ヴァン・コア

出演:レ・ヴァン、アイン・タイ

フランス占領時代。地主の苛酷な税の取り立てのため、多くの農民が疲弊していた。ダオの夫は税金が払えず拘束され、病気になるから、家に帰されてしまう。働けない夫に変わって、ダオはお金持ちの屋敷での仕事を紹介されるのだが…。当時のトップ女優レ・ヴァンの美しさが際立つ作品。

射程内の街 A Town within Reach

● 11月12日(日) 11:00
● 11月23日(木・祝) 11:00



1982年/35ミリ/モノクロ/79分
ベトナム/日本語字幕付き

監督:ダン・ニャット・ミン

出演:タット・ビン、クエン・ハン

1979年の中越国境紛争を背景とした作品。廃墟となった国境の街を舞台に、組織と人間の関係を描いている。ダン・ニャット・ミン監督が初めて自由に脚本を書いた作品で、過去と現在を行き来する印象的な映像も素晴らしいが、監督自身が日本人記者役として出演している点も見逃せない。

十月になれば How I Long for October

● 11月11日(土) 14:00
● 11月16日(木) 14:00



1984年/35ミリ/モノクロ/85分
ベトナム/日本語字幕付き

監督:ダン・ニャット・ミン

出演:レ・ヴァン、グエン・フー・ムイ

ズエンは恋人と結婚するが、まもなく夫は戦死してしまう。しかしズエンは祖父に息子の戦死を伝えることができず、小学校の教師のカーンに頼んで、祖父あてに夫からの偽の手紙を書いてもらう。ベトナムの田舎の穏やかな生活と、ズエンの優しさが溢れるダン・ニャット・ミン監督の傑作。

退役将軍 The Retired General

● 11月16日(木) 19:00
● 11月25日(土) 17:00



1988年/35ミリ/モノクロ/91分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

監督:グエン・カック・ロイ

出演:マイン・タン、ドアン・アイン・タン

退役した将軍が家に帰ってくる。しかし妻は気がふれており、息子の妻は不倫をしていた。息子も退廃した生活をおくっており、彼は乱れた家族をどうすることもできないのだった。若い世代のモラルの退廃をショッキングな語り口で告発した作品で、製作当時議論を巻き起こした問題作。

旅まわりの一座 Traveling Circus

● 11月5日(日) 11:00
● 11月15日(水) 14:00



1988年/35ミリ/カラー/80分
ベトナム/日本語字幕付き

監督:ヴィエト・リン

出演:デー・アイン

ある旅まわりの一座が、金塊を目当てに山岳地帯の村に入る。しかし村は飢饉でサーカスどころではなかった。魔法で村を救いたいと考える純粋な少年と一座の交流を通して、大人達の醜い姿が描かれる。ベトナムを代表する女性監督ヴィエト・リンの代表作で、スイスのフリュール映画祭でグランプリを受賞した。

黒いサボテン The Black Cactuses

● 11月17日(金) 14:00
● 11月25日(土) 14:00



1991年/35ミリ/カラー/88分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

監督:レ・ザン

出演:ヴィエン・チン、ヴォー・テー・ヴィー

ベトナム中部の少数民族チャム族の娘マーと、チャム族の女と黒人の米軍兵士との間に生まれた青年ライの愛を描いた作品。愛し合う二人は周囲の差別を振り切って結婚。しかし水不足で作物がとれず、ライはホーチミンに働きにでる。南ベトナム映画界を代表するレ・ザン監督の90年代の傑作。

街角の歌 The Strolling Singers

● 11月17日(金) 19:00
● 11月25日(土) 11:00



1992年/35ミリ/カラー/87分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

監督:チャウ・フエ

出演:トゥー・ハー、チャン・ルック

眼を負傷したため軍を除隊となったフンが帰宅すると、妻は金持ちの男と浮気しており、家を出てしまう。失望するフンだが、病弱な父親と流しをしながら生活する少女マイと出会い、希望を見いだしていく。ホーチミン市内で隠し取りをした映像など、戦争の傷跡が色濃く残るベトナム現状が現れている。

ナイフ Luoi Dao

● 11月18日(土) 11:00
● 11月26日(日) 14:00



1995年/35ミリ/カラー/90分
ベトナム/日本語字幕付き

監督:レ・ホアン

出演:ミ・ズエン、ティエン・アイン・ズオン

ベトナム戦争末期の南部のカトリックが多い村。祖母を殺されたニエは、復讐を誓う。そんな時彼女の前に若い兵士のズンが現れる。二人は次第に惹かれていくのだが…。90年代に最も注目される若手監督との評価を得たレ・ホアン監督の第二作。主演のミ・ズエンの美しさが際立つ。

祈り Gone, Gone, Forever Gone

● 11月18日(土) 17:00
● 11月26日(日) 11:00



1996年/35ミリ/カラー/84分
ベトナム=スイス/日本語・英語字幕付き

監督:ホー・クアン・ミン

出演:フォン・ズン、レト・クアン・アイン

ベトナム中部の町フエに住む姉と弟2人の人生に、45年から85年までのベトナムの歴史を重ね合わせた作品。姉トゥアンは尼僧になる。南北分断により弟のクアンは北部へ行き、もう一人の弟は南ベトナム軍に志願する。戦後傷ついた2人の弟は姉の元で再会するのだった。

グアバの季節 Guava House

● 11月11日(土) 17:00
● 11月23日(木・祝) 14:00



2000年/35ミリ/カラー/103分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

監督:ダン・ニャット・ミン

出演:ブイ・バイ・ビン、ラン・フオン

ホアは13歳の時、グアバの木から落ちて頭を打って以来、知的発達が止まってしまう。30年後、ホアは妹に面倒を見てもらいながらアパートで一人暮らしをしている。ダン・ニャット・ミン監督が原作を書いた小説の映画化。純粋で美しい過去の記憶の中に生き続けるホアが哀愴の念を持って描かれる。

天の網 Heaven's Net

● 11月19日(日) 11:00
● 11月24日(金) 19:00



2002年/35ミリ/カラー/101分
ベトナム/日本語・英語字幕付き

監督:フィー・ティエン・ソン

出演:ダオ・バー・ソン、ホー・ティ・キム・カイン

マナコ社の社長タインとA BF銀行の頭取ホアンは、共謀して多くの会社を設立し巨額の不正融資を行い利益を得ていた。86年に陥落の市場経済の導入により顕在化した汚職や不正などの犯罪を糾弾した作品。汚職に共産党幹部が関わっていることが示唆されるなど、娯楽性の高さの中にも政治的な腐敗をあぶりだし、現代のベトナムの姿を描いている。

はるか遠い日 A Time Far Past

● 11月19日(日) 14:00
● 11月24日(金) 14:00



2004年/35ミリ/カラー/113分
ベトナム=フランス/日本語・英語字幕付き

監督:ホー・クアン・ミン

出演:ゴウ・テー・クワン、グエン・ヴァン・ミン

54年北ベトナムのホン河流域の村。共産党員の兄を持つ12歳の少年サイは、18歳の少女トゥエと結婚させられる。まだ子供のサイはトゥエが好きになれなかったが、妻を大切にしない態度は家族にとって許されなかった。サイの少年時代から40年の物語の中にベトナム社会の変化が描かれる。

ベトナム映画祭上映スケジュール 11月1日(水)~26日(日)



1 水	(14:00) トゥー・ハウ	
2 木	(14:00) 愛は17度線を越えて (19:00) 少女と小鳥	
3 金(祝)	(11:00) ハノイの少女 (14:00) 再会の約束	
4 土	(11:00) おかあさんはおるす (14:00) 無人の野 (17:00) ティ・ダオ物語	
5 日	(11:00) 旅まわりの一座 (14:00) 愛は17度線を越えて	
6 月	休館日	
7 火	休映日	
8 水	(14:00) ハノイの少女	退役將軍
9 木	(14:00) おかあさんはおるす (19:00) 再会の約束	
10 金	(14:00) 無人の野 (19:00) ティ・ダオ物語	
11 土	(11:00) 少女と小鳥 (14:00) 十月になれば (17:00) グァバの季節	
12 日	(11:00) 射程内の街 (14:00) 講演会「ベトナム映画の魅力〜ダン・ニャット・ミン監督自作を語る〜」	
13 月	(15:10) 河の女	
14 火	休館日	
15 水	休映日	
16 木	(14:00) 旅まわりの一座	愛は17度線を越えて
17 金	(14:00) 十月になれば (19:00) 退役將軍	
18 土	(14:00) 黒いサボテン (19:00) 街角の歌	
19 日	(11:00) ナイフ (14:00) トゥー・ハウ (17:00) 折り	
20 月	(11:00) 天の網	
21 火	休館日	
22 水	休映日	
23 木(祝)	(14:00) 河の女	
24 金	(11:00) 射程内の街 (14:00) グァバの季節	街角の歌
25 土	(14:00) はるか遠い日 (19:00) 天の網	
26 日	(11:00) 街角の歌 (14:00) 黒いサボテン (17:00) 退役將軍	
27 月	(11:00) 折り	
28 火	休館日	
29 水	休映日	
30 木	休館日	



折り



再会の約束

講演会

「ベトナム映画の魅力」

〜ダン・ニャット・ミン監督 自作を語る〜

11月12日(日)

14:00~15:00

講師：ダン・ニャット・ミン(映画監督)

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

*講演は有料で15時10分からの「河の女」の上映とセット料金です。
*開場は開演の30分前。

プロフィール

ダン・ニャット・ミン監督
Dang Nhat Minh—film director


1938年ベトナム中部の都市・フエ生まれ。父親はベトナムで初めてペニシリン培養に成功した学者だった。2年間のソ連留学後、映画シナリオ翻訳の仕事に就く。ベトナム映画学校で映画の研究を行った後、65年にドキュメンタリー映画の製作をはじめ。その後劇映画の監督となり、「射程内の街」(82年)から自らの脚本で映画を撮るようになる。続く「十月になれば」(84年)「河の女」(87年)は多くの国際映画祭で上映され、ベトナム映画と彼の名前を国際的に知らしめる。またNHKと共同製作した「ニャム」(95年)は、世界で30以上の映画祭に招待された。作家・ジャーナリストとしても活躍している。その他の主な作品として「帰還」(94年)「ハノイ、1946年冬」(1996年)「グァバの季節」(2000年)等がある。



射程内の街

INFORMATION



■ ホームページ「うえぶシネラ」をご覧ください。

●うえぶシネラ
アドレス <http://www.cinela.com>

■ 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので、長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力いただきますようお願いいたします。

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス：*天神〜都市高速経由〜福岡タワー南口(所要時間：昼間で約20分)*博多駅〜都市高速経由〜福岡タワー南口(所要時間：昼間で約25分)福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10〜15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。


福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館
(代表) 092 (852) 0600
映像資料課 092 (852) 0608
FAX 092 (852) 0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
ホームページアドレス
<http://www.cinela.com>